

## 市民の学びを支えるまちづくりについて

○16番(野村羊子さん) それでは、今回の私の一般質問は、市民の学びを支えるまちづくりについて質問いたします。

人が生きていく上で、学びは重要です。子どもたちの教育を受ける権利を保障し、そして、生涯にわたってその学びが保障されることは、主体的市民を育成することにつながります。それは相互の関係性によって成立する民主主義を下支えするものです。すなわち、地域のコミュニティの形成、協働によるまちづくりの基盤となるものだとも言えます。

(1)、自律的・主体的な生涯学習を保障することについて。

三鷹市の生涯学習は、社会教育を含むとされています。三鷹市生涯学習センター条例第1条。社会教育は、個人や社会の要請に応え、自治体によって奨励され、機会や情報提供等によって支援するものとされています。

そこで、ア、市の生涯学習の現状についてお伺いします。

質問1、市の生涯学習において、市民の生活課題、地域課題の解決に向けた学びが保障されているでしょうか。具体的にどのような事業・活動を実施しているのかをお伺いします。

質問2、市民の主体的・自律的学習を支援し、社会の要請に応える学習を提供するために、具体的にどのような事業、活動を実施しているのかをお伺いいたします。

イ、生涯学習支援の専門職員配置について。

社会教育、生涯学習はすぐれて専門的な分野であり、知識や経験の蓄積が重要となるものです。社会教育では、もともと社会教育主事という専門的教育職員を置くことが求められていました。そして、専門的・技術的助言及び指導を行うことと社会教育法第9条でうたわれていました。

質問3、市の生涯学習センターは指定管理であるが、生涯学習、社会教育を支援するための専門職員を配置しているでしょうか。

質問4、生涯学習、社会教育の情報提供及び相談に対応する職員に対し、必要な研修を行っているのでしょうか。指定管理の業務を定めた仕様書に、これらを定めているのでしょうか。

次に、ウ、自主グループ講師派遣事業実施要綱についてお伺いします。

自主グループ講師派遣事業実施要綱は、2017年度、すなわち、教育委員会から市長部局に移管されて以降、毎年、3回にわたって改正されています。2018年4月1日の改正では、第2条、講師派遣の対象としない場合に、(5)、テーマに市民の間に大きな意見の相違がある場合とする項目を追加しています。

質問5、この項目を追加した理由と根拠をお伺いします。

質問6、同時に、講師派遣事業の広報のために自主グループが作成したチラシに対して検閲を行い、表現の変更を求める運用を行っています。その理由と根拠をお伺いします。

質問7、自主グループの活動の保障ではなく、制限と検閲となっている実態について、市長の見解をお伺いいたします。

次に、(2)、読解力を身につける学習支援についてお伺いいたします。

インターネットの普及等により、子どもたちの語彙や読解力の衰退が話題になっています。

ア、三鷹市の児童・生徒の読解力の現状について。

質問8、全国学力・学習状況調査の三鷹市の結果について、どのような評価・分析をしているのでしょうか。

質問9、東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査の三鷹市の結果をどのように評価・分析しているのでしょうか。

イ、読解力を高める学習について。

読解力は、学習の根幹をなすものです。国語のみならず、全ての教科において必要な力であり、思考力や関係性向上にも必須の力です。

質問10、読解力を高めるための学習として、三鷹市としてどのようなことが実施されているのでしょうか。

質問11、語彙をふやし、論理的な文章を読み、コミュニケーション力を高めるための学習方法を検討、実施しているのでしょうか。

質問12、パソコンやタブレットを1人1台宛てがうのではなく、図書の実等や教材研究の実等が重要と考えますが、教育長の見解をお伺いいたします。

質問13、一方で、どの子もパソコンなどを当たり前活用できる環境を提供することも必要

です。家庭環境等でアンバランスにならないように、図書室に自由に調べ物に使えるパソコンを設置することなど、必要な環境整備を行うことに対する教育長の見解をお伺いします。

最後に、(3)、東京外郭環状道路についてお伺いいたします。外環についての質問は、今回で第13回目となります。

ア、2月8日に開催されたオープンハウスについて。

国交省及び東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社ら事業者は、恒例のオープンハウスを2月5日から9日の5日間に8カ所で開催いたしました。そのうち、これからシールドマシンが掘削をしようとする地域3カ所で、4回にわたり30分程度の事業者による着座にての説明が実施されました。

質問14、どのような説明を行ったかについて、事前または事後に事業者より情報提供はあったでしょうか。内容はどのようなものだと認識しているのか、具体的にお答えください。

質問15、東名ジャンクションを発進したシールドマシンは、調布市域に入ると同時に、気泡を注入する工法で掘削すると説明されています。市は、気泡シールド工法を用いても、地表に影響がなく、安全性が確認されたという情報は得ているのでしょうか。

質問16、気泡シールド工法に対する漏気——つまり、酸欠ガス噴出ですね。も含めた工法の説明を、三鷹市域に入る前に実施するよう要請をしまいましたが、その回答は得られたのでしょうか。

次に、イ、地中拡幅部の工事について質問します。

質問17、間もなく工事契約の期限が来ますが、どんな状況かといった情報提供は受けていますでしょうか。順調に進捗しているのでしょうか。実際に工期終了の5月8日には地中拡幅部についての実施設計が終わるのでしょうか。また、今後の工事について具体的な情報が得られるのでしょうか。

質問18、中央ジャンクション工事は現在、幾つの工事が同時進行しているのでしょうか。これらの工期はいつまででしょうか。

質問19、今後どのような工事が発注予定かの情報を得ていますか。また、予測できる工事はどれだけあるのでしょうか。市独自にシミュレーションをしていますでしょうか。それはいつまでかかると予測できるのでしょうか。

質問 20、東京外環道路事業の事業計画は 2021 年 3 月末までとなっています。現状では完成は不可能と思うのですが、工期延長、事業計画変更についての情報はあるのでしょうか。

以上、壇上での質問を終わります。自席での再質問を留保いたします。よろしくお願いいたします。